

—大阪損保革新懇第12回総会日程決まる—

記念講演 渡辺武氏(元大阪城天守閣館長・全国革新懇世話人)

講演『新しい歴史の幕開けと革新懇の役割』

多くの仲間の参加をよびかけます

仲間みなさん

このたびの衆議院選挙で自公政権は国民の厳しい審判を受け、歴史的な大敗を喫し、自公政権は退場、民主党を中心とする政権が誕生することになりました。今回の選挙で国民は主権を発動し、日本の歴史上初めて保守政権を退陣させたことは大きな前進です。これからの政治経済は国民が主人公の新しい日本の路線をどう作っていくかが問われます。

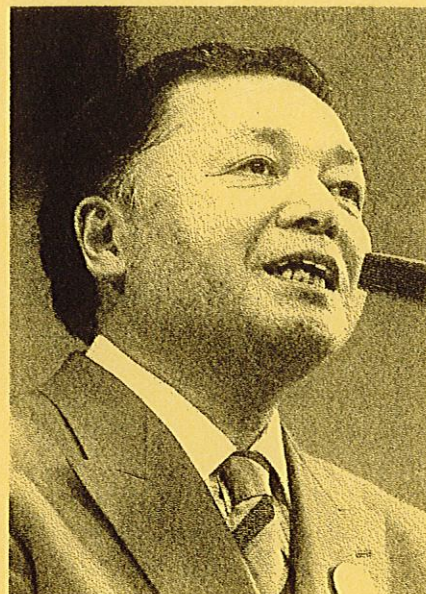
私たちは「世界史が変わり始めている時代」「いまたたかえば政治が動く。国民の声で政治が動く、革新三目標がいよいよ真価を発揮する時代」を合言葉に自公政権を早く終わらせようとよびかけてきました。私たちは結成後11年間は自公政権のもとで革新三目標実現のため運動を展開してきましたが、これからは日本の新しい歴史の幕開けとともに革新懇運動をどう展開していくかという新しい時代に入ります。

私たちはこれから新政権がどのような政策を実現するのか、革新三目標と損保産業の民主的な発展をのぞむ立場から座標軸を確認しておく必要があります。すなわち、革新目標の『経済の仕組みを国民本位に変える』点では、年金・雇用・医療・福祉・教育・子育てなどを改善・充実する。財源は消費税増税ではなく、軍事費を削減し、行政のムダ遣いを改革し、大企業と資産家に応分の負担を求める。『憲法と民主主義を守り平和をめざす』では、核兵器廃絶、平和憲法と9条を守り、人権を大切にす。民意が反映する選挙制度を守る。自衛隊の海外派兵を中止し、米国との従属的関係をやめる。『金融・保険の民主化』では、小泉・竹中路線のもとで進められた新自由主義型の金融政策の功罪を総括し、現在進められている儲け本位の統合・合併・過当競争をやめさせ、「年次改革要望書」などによるアメリカの経済的介入をやめさせる。損害保険に働く従業員を大切にすし、代理店制度を守る。

私たちはこのような視点を踏まえ、今後の運動を建設的に展開していきます。

仲間みなさん

大阪損保革新懇第12回総会はこのような歴史的な状況の中で開催されます。記念講演は歴史家の渡辺武氏にお願いしました。情勢にふさわしい講演をおきかせいただければと思います。みなさん、いままでの活動に自信をもって振り返り、新しい時代の革新懇運動をみんなで確認する総会を成功させましょう。多くの仲間の参加を呼びかけます。



渡辺 武 (わたなべ たける)

1937年、兵庫県生まれ。京都大学文学部史学科卒業。高槻高校教諭を経て、1962年、大阪城天守閣学芸員。

73年、同主任、92年より館長、2000年退職。

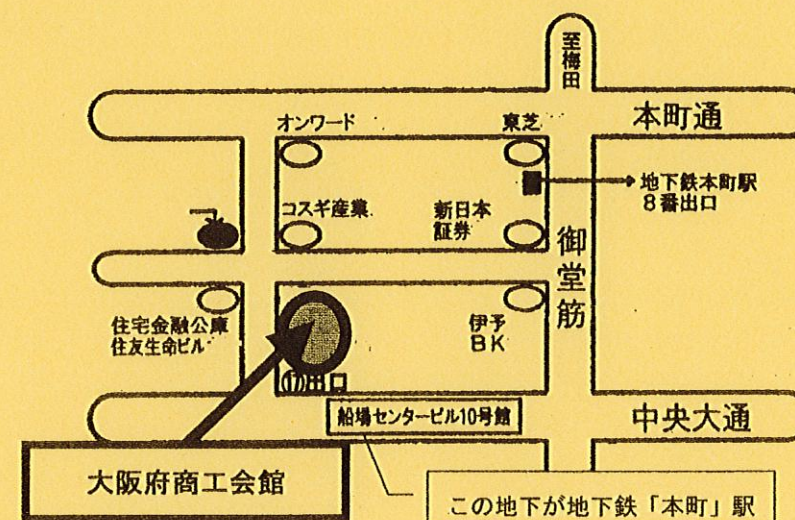
西宮市在住

- 著書：
- 『豊臣秀吉を再発見する』
 - 『図説 再見大阪城』
 - 『大阪城歴史散策』
 - 『大阪城秘話ストーリー』
 - 『図録 大阪夏の陣屏風』
 - 『日本城郭体系12大阪・兵庫編』

大阪損保革新懇第12回総会

日時 2009年11月6日(金) 午後6時半開会～8時半
会場 大阪府商工会館7階大会議室

(地下鉄御堂筋線本町駅下車17番出口)



2010年度会費納入のお願い

2010年度の会費3000円を職場の世話人に預けていただくか、郵便振替用紙にて振り込んでいただくようお願いいたします。

事務局